



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月29日 東

上場会社名 株式会社東邦システムサイエンス 上場取引所
 コード番号 4333 URL <http://www.tss.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 村上 宣夫
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員経理部長（氏名） 吉田 博英 (TEL) 03 (3868) 6060
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	9,777	8.2	1,095	28.9	1,103	28.7	728	34.1
27年3月期第3四半期	9,039	25.4	849	53.0	857	52.6	543	67.9
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年3月期第3四半期	60.03		—					
27年3月期第3四半期	44.76		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	8,311	5,366	64.6	442.34
27年3月期	8,340	4,806	57.6	396.17

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 5,366百万円 27年3月期 4,806百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	3.4	1,200	3.8	1,206	3.7	760	14.6	62.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年3月期3Q	13,865,992株	27年3月期	13,865,992株
28年3月期3Q	1,733,726株	27年3月期	1,733,726株
28年3月期3Q	12,132,266株	27年3月期3Q	12,132,528株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等について)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、米国の金融政策の影響、中国を始めとするアジア新興国経済の景気減速、原油価格下落の影響等により、先行きは不透明な状況にあります。

当社が属する情報サービス業界におきましては、企業収益の改善を背景に、金融業などを中心とした企業のソフトウェア投資は、総じて堅調に推移しておりますが、IT技術者不足により人材確保は厳しい状況が続きました。

このような環境のもと、当社は当事業年度を初年度とする中期事業計画（2015年～2017年度）をスタートさせ、①「継続的かつ安定的な事業拡大」、②「ES（社員満足度）の向上」、③「モノ作り力の向上」を重点戦略とした具体的取り組みを推進しております。また、営業活動面におきましては既存顧客との取引拡大、新規顧客の獲得に注力してまいりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は9,777百万円（前年同期比8.2%増）、営業利益は1,095百万円（同28.9%増）、経常利益は1,103百万円（同28.7%増）、四半期純利益は728百万円（同34.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①ソフトウェア開発

当社の中心的なビジネス領域である金融系分野の売上高は8,087百万円（前年同期比15.6%増）となりました。ネット証券会社の基幹システム、証券フロントシステム及びデリバティブ案件等の受注が伸びた証券系業務は1,474百万円（同46.1%増）、メガバンク統合対応の継続に加え、税制改正対応の案件や投信関連業務の受注が伸びた銀行系業務は1,871百万円（同21.4%増）、基幹システムの保守案件が拡大した生命保険系業務は1,966百万円（同20.4%増）と好調に推移しました。また、大型統合案件の終了等により、損害保険系業務は2,599百万円（同0.1%減）となりました。

非金融系分野の売上高は1,438百万円（同18.9%減）となりました。開発案件の稼動に伴い、医療・福祉系業務は602百万円（同25.0%減）、運輸・郵便系業務は247百万円（同41.7%減）と前年同期を下回りましたが、通信系業務は大型基盤案件等の獲得により、329百万円（同31.2%増）と伸展いたしました。

これらの結果、ソフトウェア開発の売上高は9,526百万円（同8.6%増）となりました。

②情報システムサービス等

主たる業務であるコンピュータ運用管理業務は運用の統合化が進み、情報システムサービス等の売上高は251百万円（前年同期比6.4%減）と前年同期を下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

当第3四半期会計期間末における総資産は8,311百万円となり前事業年度末に比べ29百万円減少しております。これは主として、現金及び預金が408百万円、仕掛品が126百万円、投資有価証券が20百万円、繰延税金資産（固定資産）が20百万円増加し、売掛金が454百万円、繰延税金資産（流動資産）が125百万円、無形固定資産が11百万円、その他（投資その他の資産）が13百万円減少したことによります。

負債合計は2,944百万円となり前事業年度末に比べ589百万円減少しております。これは主として、未払費用が42百万円、退職給付引当金が75百万円増加し、買掛金が75百万円、未払金が119百万円、未払法人税等が252百万円、賞与引当金が176百万円減少したことによります。

純資産は5,366百万円となり、前事業年度末に比べ560百万円増加しております。これは主として、四半期純利益728百万円を計上したこと、剰余金の配当により181百万円減少したことによります。これらの結果、自己資本比率は64.6%となり、前事業年度末に比べ7.0ポイント増加しております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、引き続き需要は堅調に推移すると思われませんが、国内外の経済情勢、IT技術者不足等、先行き不透明な要因もあり、平成27年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に現時点での変更はありません。

なお、上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,935,521	5,344,504
売掛金	1,840,209	1,386,063
有価証券	405,782	405,893
仕掛品	8,587	134,899
繰延税金資産	203,326	78,087
その他	63,751	56,362
貸倒引当金	△5,521	△4,146
流動資産合計	7,451,659	7,401,664
固定資産		
有形固定資産	26,180	31,386
無形固定資産	37,553	25,866
投資その他の資産		
投資有価証券	154,303	174,664
繰延税金資産	518,070	538,483
その他	157,581	144,142
貸倒引当金	△4,750	△4,750
投資その他の資産合計	825,205	852,540
固定資産合計	888,939	909,793
資産合計	8,340,598	8,311,458

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	670,019	594,062
リース債務	3,168	3,194
未払金	149,622	30,199
未払費用	109,659	152,283
未払法人税等	309,043	56,777
賞与引当金	360,970	184,223
役員賞与引当金	8,950	—
その他	263,545	181,988
流動負債合計	1,874,979	1,202,728
固定負債		
リース債務	6,440	4,041
退職給付引当金	1,507,721	1,583,102
役員退職慰労引当金	145,066	155,053
固定負債合計	1,659,227	1,742,197
負債合計	3,534,207	2,944,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	526,584	526,584
資本剰余金	531,902	531,902
利益剰余金	4,242,186	4,788,544
自己株式	△545,581	△545,581
株主資本合計	4,755,090	5,301,448
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,299	65,084
評価・換算差額等合計	51,299	65,084
純資産合計	4,806,390	5,366,532
負債純資産合計	8,340,598	8,311,458

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	9,039,426	9,777,499
売上原価	7,430,978	7,890,713
売上総利益	1,608,448	1,886,786
販売費及び一般管理費	758,869	791,536
営業利益	849,578	1,095,250
営業外収益		
受取利息	229	192
受取配当金	2,115	2,815
保険返戻金	832	575
保険事務手数料	783	730
貸倒引当金戻入額	1,447	1,375
保険配当金	1,495	1,490
その他	902	1,098
営業外収益合計	7,804	8,277
営業外費用		
支払利息	95	69
固定資産除却損	102	6
営業外費用合計	197	76
経常利益	857,186	1,103,451
特別損失		
減損損失	659	—
特別損失合計	659	—
税引前四半期純利益	856,527	1,103,451
法人税、住民税及び事業税	245,295	276,860
法人税等調整額	68,222	98,249
法人税等合計	313,518	375,109
四半期純利益	543,008	728,341

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	9,674,627	108.4
情報システムサービス等	251,150	93.6
合計	9,925,777	107.9

- (注) 1 金額は販売価格によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	9,356,222	110.0	2,199,832	106.0
情報システムサービス等	33,130	9.8	33,470	10.4
合計	9,389,352	106.2	2,233,302	93.2

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア開発	9,526,349	108.6
情報システムサービス等	251,150	93.6
合計	9,777,499	108.2

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
2 当第3四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
榑野村総合研究所	3,405,243	37.7	3,349,032	34.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。